

# 平成25年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B54	野生動物保護センター設置事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律			戦略項目		
					分野施策	040104 生物多様性保全の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>高病原性鳥インフルエンザをはじめ、「人と動物の共通感染症」の恐れのある野生鳥獣を保護・管理し、さらに人間に危害を及ぼす外来生物を駆除することにより、生物多様性保全を推進するとともに県民の生活環境を守る。</p> <p>(1) 野生動物保護センター設置費 21,400千円                      (2) 高病原性鳥インフルエンザ検査事業 230千円                      (3) 施設運営管理費 300千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 野生動物保護センターの設置 21,400千円                      動物指導センター川越支所の改修工事を行うことにより、感染が疑われる野生鳥獣の衰弱個体を隔離する場所を確保する。                      ・屋根、外壁の改修                      ・検査室、隔離室等の整備</p> <p>イ 高病原性鳥インフルエンザ検査事業 230千円                      「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(環境省自然環境局)に基づく検査体制を確立する。                      ・簡易検査の実施(需用費)                      検査対象100羽                      1キット(10検体) 11,500円 11,500円×20キット=230,000円</p> <p>ウ 施設運営管理費(警備費・光熱水費等) 300千円</p> <p>(2) 事業計画                      平成25年度 動物指導センター川越支所の改修、当センターにおいて鳥インフルエンザ簡易検査の実施                      平成26年度 センターにおいて鳥インフルエンザ簡易検査の実施、傷病野生鳥獣の保護や侵略的外来生物の適正な処分を行うための体制整備</p> <p>(3) 事業効果                      ・ 共通感染症の危害が人に対して及ぶことを防止することができる。                      ・ 衰弱個体の保護・収容が可能となり、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(環境省自然環境局)による検査体制が確立する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 県(10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	21,930	21,000					930	21,930
前年額	0						0	